

# 令和5年度 佐世保市立金比良小学校学校経営計画

## 学校経営の基本方針

- 日本国憲法、教育基本法などの教育法令、長崎県教育方針、佐世保市教育方針に則り、家庭や地域の実態に即した児童の健全な育成。



金比良小学校・光海中学校  
共通教育目標



ふるさとに誇りと愛着をもち  
夢や志を育みながら  
たくましく成長する児童生徒の育成

## 学校経営の基本方針

- 光海中学校との小中一貫型教育、コミュニティ・スクールによる9か年をとおした児童の育成。

### 9か年を通して育てたい児童・生徒像

- |           |   |                             |
|-----------|---|-----------------------------|
| <b>知育</b> | } | 基礎基本を身に付けている子ども             |
| <b>徳育</b> |   | 学習規律・学習習慣が確立している子ども         |
|           |   | 他と関わり合って追求し、自ら学ぶ子ども         |
| <b>体育</b> | } | 自分の思いを生き生きと表現できる子ども         |
|           |   | 気持ちの良い挨拶ができる子ども             |
|           |   | 時・場所・目的に応じた、けじめのある言動ができる子ども |
| <b>徳育</b> | } | 自他を認め、助け合い高め合う子ども           |
|           |   | めあてに向かってねばり強く取り組む子ども        |
|           |   | 健全な生活習慣を身につけている子ども          |
| <b>体育</b> | } | 体力の向上に向けて努力する子ども            |

### めざす学校の姿

- ①明るく楽しい学校
- ②落ち着きと礼儀のある学校
- ③美しく安全な学校
- ④保護者や地域と共に励み合い信頼される学校

### めざす児童の姿

- ㊦：和を大切にする子
- ㊧：かしこい子
- ㊨：しんぼう強くがんばる子
- ㊩：思いやりのある子

### めざす教師の姿

- ①心身共に健康で、使命感を自覚し信頼される教師
- ②自己研鑽に努め、子どもと共にあり、実践する教師
- ③組織の一員として、協調性と創造性を発揮し楽しい職場作りに努める教師

和を大切にする子 (徳) 思いやりのある子	かしこい子 (知)	しんぼう強くがんばる子 (体)
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「あいさつで心をつなごう、ことばを大切にしよう」のスローガンの浸透 あいさつ・使う言葉・善悪の判断等、基本的な生活習慣を身に付け、けじめのある生活ができる。</li> <li>* 他人の立場を認め、誰とでも仲よく協力できるとともに、自他の生命を大切にすることができる。</li> <li>* 自分を支えてくれる保護者・地域の人々への感謝の気持ちを表すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 反復により基礎・基本をしっかり身に付け、活用することができる。</li> <li>* 人の話をきちんと聞くことができる。</li> <li>* 書く・話す等の表現力を身に付け、自分の思いをしっかりと伝えることができる。</li> <li>* 学び方がわかり、自ら進んで学習することができる。</li> <li>* 情報機器を正しく使い、多くの情報を精査し、自ら考え生活に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 基本的な生活習慣・衛生的な習慣を身に付け、健康で安全な生活を送ることができる。</li> <li>* 体力づくりに励み、全力で頑張ることができる。</li> <li>* 目標をもち、最後まで粘り強くやり遂げようとする。</li> </ul>

- ☆ 地域人材や関係団体との連携
- ①小中一貫型教育：光海中学校との連携の強化
  - ②地域未来塾・こんびらっ子教室の開催
  - ③コミュニティ・スクール（2年目）
    - 学校教育活動への地域GTの参画の推進
    - こんびらっ子見守り隊による、登下校時の見守り
    - 地域行事への児童・職員の積極的参加

地域に開かれた  
信頼される学校

- ☆ 正確・迅速な情報発信・対応
- ①教育活動の積極的公開
    - ・ 学校開放（いのちを見つめる強調月間）
    - ・ 定期的な授業参観・学級懇談会
  - ②積極的な情報公開
    - ・ 学校便り・学年学級通信の発行、HPの活用
  - ③事件・事故への迅速かつ誠意ある対応

# 令和5年度の重点目標及び実践事項

## 1 コミュニティ・スクールの推進(2年目:地域の学校教育活動への参画)

- (1) 地域学校協働活動の充実
  - ・地域人材の活用による効果的な教育活動の実践
  - ・多様な教科での学びの場を学校・地域と協力してつくる
- (2) コミュニティ・ルームの整備
  - ・ひまわりルームをコミュニティ・ルームとして活用する

## 2 小中一貫型教育の推進(7年目)

- (1) 小中9か年間の学習・生活スタイルを「そろえ、つなぐ」(義務教育学校への道筋を構築する)
  - ・9か年の教科関連カリキュラムの活用と中学校教諭の乗入れ授業
  - ・キャリアパスポートの作成と活用による自己有用感の醸成
  - ・家庭学習(一定時間机に向かう)の習慣化
- (2) 校内研修や小中合同行事の継続開催(歓迎遠足・体育大会・避難訓練・縦割り活動)
- (3) 中学校で学ぶメリットを生かした6年生の教育課程の推進
  - ・小中の教育課程を生かした乗入れ授業の工夫(指導教科・実施時間)
  - ・6年生は、6月から2月まで中学校舎で生活。1単位時間50分間(授業はそのうちの45分)で行う。
- (4) 5年生のリーダー性の育成

## 3 英語教育の充実(英語が話せるまち佐世保プロジェクト協力校)

これまでの本校実践をベースに金比良スタイルの英語教育研究の推進。

- (1) 小中一貫型教育・教育課程特例校の利点を生かす。
  - 人 材:学級担任・中学校英語教師、国際理解教育指導員
  - 指導時数:1・2年生10コマ、3・4年生40コマ、5・6年生80コマ(4技能5領域)
- (2) 学習で身に付けた技能を生かす場を提供し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
  - ・イングリッシュタイムの計画的な実践
  - ・エレメンタリー及びキングスクールとの交流
  - ・イングリッシュデー、英語集会の実施
- (3) GTEC「英語4技能検定」の実施による定着度の検証(6年児童:11月実施)

## 4 特別支援教育の充実

- (1) 4種4学級の特別支援学級の設置。
  - ・学年間・学級間の交流の場の工夫 ・保護者・地域への「特別支援教育」についての周知
- (2) 配慮を要する児童の実態把握と個の特性に応じた支援の仕方について研修を深める。
  - ・児童理解のための連絡会を開催し、共通理解を図るとともに組織的に支援できるようにする。
  - ・校内支援委員会の開催、外部専門機関の活用による支援策の検討
- (3) 指導経過について確実な引継ぎを行う
  - ・該当児童の「個別支援計画」「個別指導計画」の作成と活用

## 5 基礎学力の定着・・・学習指導要領に基づく授業実践と評価の研究

- (1) 読む・聞く・書く・伝え合う活動を意図的計画的に行い、「生きて働く知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」を育成する。

- ① 児童が主役の授業を構築する。
    - ・身に付けさせたい能力を明確にした授業づくり
    - ・児童の対話が活性化する発問の工夫
  - ② 既習事項を活用して新たな問題を解こうとする態度の育成
    - ・授業の導入で前時の振り返りをする時間を確保する。
  - ③ 学習規律(「学び方」を学ばせる指導)の徹底
    - ・始業前1分間黙想により、学びへ向かう姿勢をつくる。
  - ④ 主体的・対話的で深い学びを意識した授業づくりと評価の研究
    - ・授業の中で意図的に、「かく場面」「伝え合う場面」を設定する。
  - ⑤ 学校司書を中心に読書ボランティアと連携し、本に親しむ児童を育てる。
- (1) 各種学力調査をもとに、課題を明確にし重点的に補強する。
- ① リーディングスキル技能を高める。
  - ② 学年に応じ、家庭学習の量と内容を吟味して提示する。

## 6 生徒指導の充実と生活規律の定着

### ～あいさつで心つなごう ことばを大切にしよう～(合言葉の定着)

- (1) いじめや不登校は未然防止を第一とし、早期発見、早期対応を徹底する。
- (2) 学校生活(学習・休み時間・給食・そうじ)にけじめをつけ、規律ある態度を育てる。
  - 「3無行動」の徹底:無言給食・無言掃除・無言での教室移動
- (3) 全職員の共通理解・指導のもと、「あいさつ・返事・靴ならべ」を普段の生活の中で徹底する。
  - 「率先垂範」・・・教師自身も実践する。
- (4) 家庭における基本的な生活習慣の定着を図る。
  - ① 元気アップカード(年間数回)・健康チェックカード(毎日)の実施
  - ② 家庭と連携した、ゲーム機・タブレット利用等に対する指導【SNS ノート長崎を活用した学級懇談会の実施】
- (5) 養育環境や家庭環境に配慮・指導・支援を要する家庭は、市・県の福祉関係機関、SSW・SC 等との連携を緊密に取り、三位一体となった子育て環境の改善を図る。

## 7 道徳教育の充実

- (1) 特別の教科「道徳」の時間の授業改善と文章表記による評価の研究。
- (2) 教科等の学習、特別活動、総合的な学習等、教育活動全体を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

## 8 信頼ある教師集団による心の通い合う教育

- (1) 厳しさと優しさのバランスのとれた指導
  - ① 法令遵守(コンプライアンス)・・・体罰、暴言等の不祥事を絶対に出さない(複数職員での対応)
  - ② 「褒める」場면을逸しない。(事実を褒める。改善策を子どもと共に考える)
- (2) 事案発生後の迅速な対応・・・保護者・地域への誠意ある対応(スピードは誠意)
  - ① 事案に合った適切な連絡方法をとる:連絡帳への記載・電話での連絡・家庭訪問の実施
  - ② 管理職への報告・相談
- (3) PTA活動、地域行事を通じた社会貢献活動

## 9 職員研修

- (1) タブレット端末の操作方法と活用法の研修
- (2) 授業力向上(学力向上)のための研修(外部講師・研究発表会への参加等)
- (3) 不祥事防止(体罰・暴言等)・アンガーマネジメント等の研修